

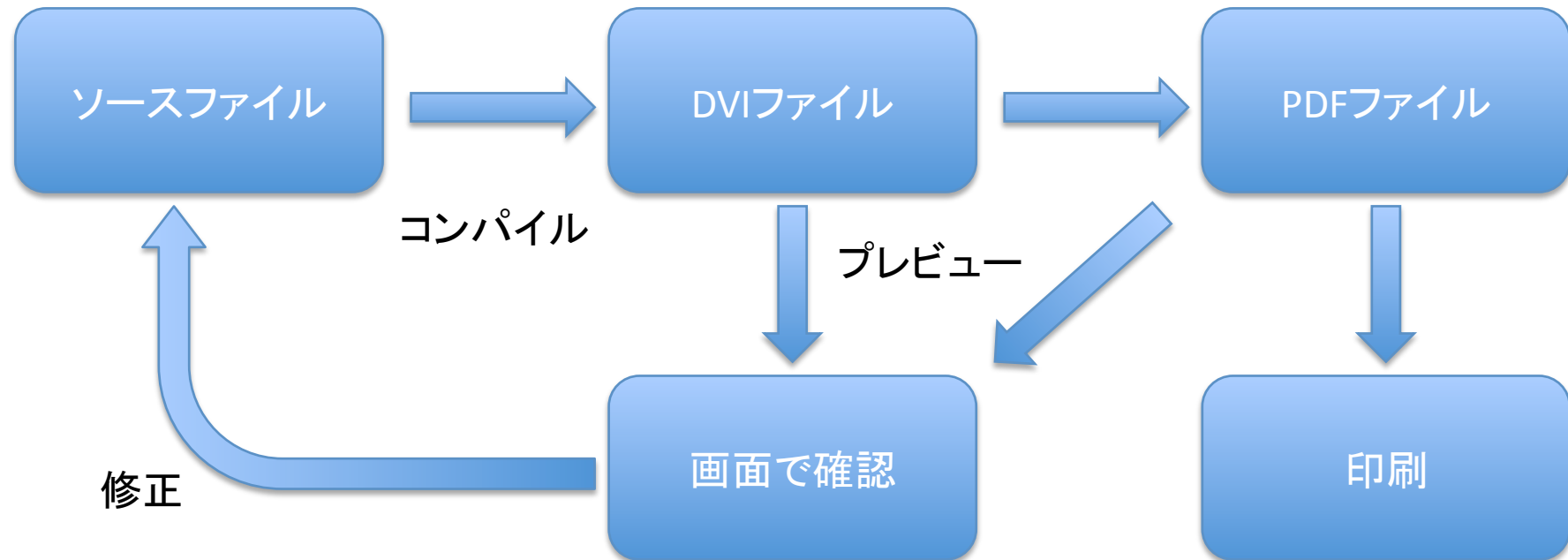
LaTeX

超入門編

LaTeX

- 読み方：“ラテック”または“ラテフ”
- 長所
 - 環境に非依存 (Windows, Mac, LinuxなんでもOK)
 - とにかく奇麗. 特に数式が奇麗
 - ページ番号とか章・節, 図, 表などの番号は自動
- 短所
 - ある程度の命令を覚える必要がある → 面倒
 - 最後まで印刷イメージは分からない → 不安

LaTeXでの文書作成手順




※ 一連の作業を便利に行うためのフリーウェアがある
(WindowsではWinShell, Mac OS XではTeXShopなどが有名)

いきなりLaTeX

- 配布の資料を TeXShop で打ち込んでみよう

LaTeX文書の構造

```
¥documentclass{文書スタイル}
(ヘッダ一部分)
¥begin{document}
(本文)
¥end{document}
```

- 文書全体の構造 
- 命令 → ¥(バックスラッシュ)で始まる
 - 単体命令 (¥maketitle など)
 - 命令の有効範囲を { ~ } で指定できる (¥bf など)
 - 引数を使う場合もある (¥title など)
 - ブロック命令
 - ¥begin{命令} と ¥end{命令} の間で有効

空白と改行

- 空白と改行は自動的に調整される
 - 1行空けると改段
- 特に必要な場合は自分で挿入できる
 - 「¥ 」(バックスラッシュ+空白) → 微小な空白
 - ¥quad → 少し大きめの余白
 - ¥qqquad → さらに大きめの余白
 - ¥¥(バックスラッシュ×2) → 改行

コメント

- % 以降はコメントとして無視される

数式

- 文章中の数式 → \$ と \$ の間に記述
- 独立した数式
 - ¥[と ¥] の間に記述
 - ブロック命令 equation を利用
- 数式用命令
 - 数式内でのみ利用可能
 - ギリシャ文字や数式記号が用意されている

章・節

- `¥chapter` (文書スタイルが book の時のみ)
- `¥section`, `¥subsection`, `¥subsubsection`
引数に章の名前を入れる
例) `¥section{はじめに}`

箇条書き

- 普通の箇条書き
 - ブロック命令 `itemize` を用いる
例)
`¥begin{itemize}`
`¥item` これは一つ目の項目です.
`¥item` これは二つ目の項目です.
`¥end{itemize}`
- 番号付きの箇条書き
 - ブロック命令 `enumerate` を用いる
 - その他はブロック命令 `itemize` と同じ

ラベルと参照

- 番号がついているものは何でも参照できる
 - ページ番号, 章・節, 図表, 数式など
- 参照先(参照される側)
 - ¥label{ラベル名} 命令でラベルをつける
- 参照元(参照する側)
 - ¥ref{ラベル名} 命令でラベルを参照
 - ※ ラベル部分についている番号を取得できる